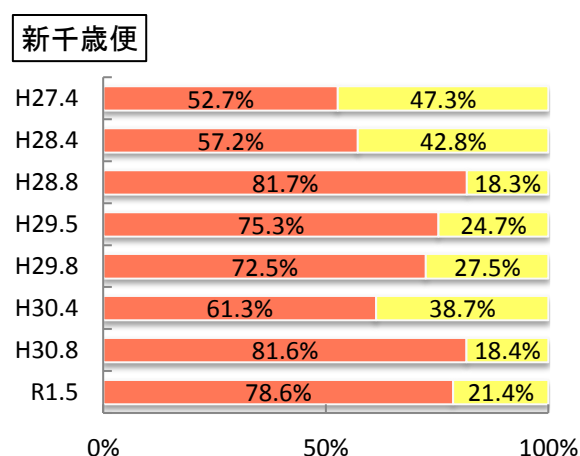
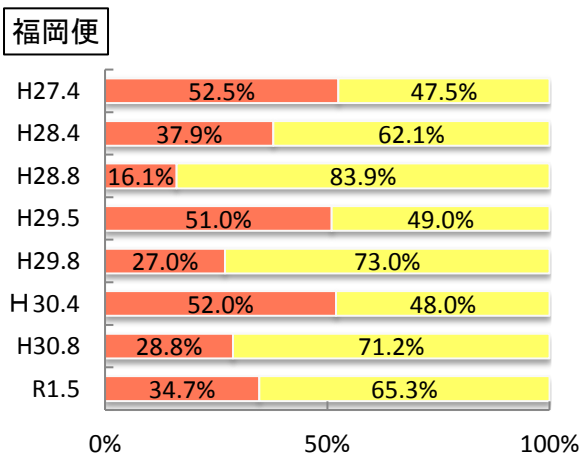
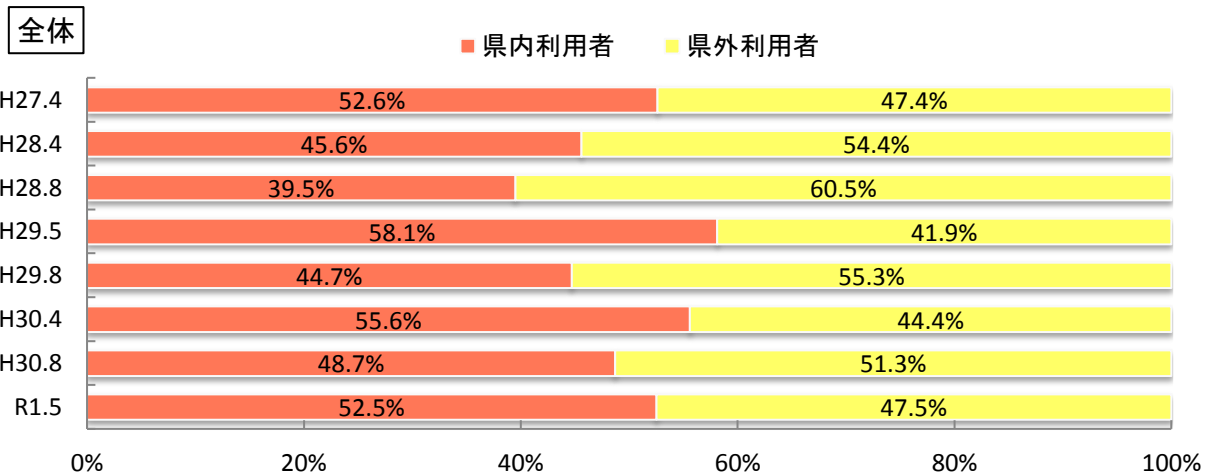


令和元年度 第1回 信州まつもと空港搭乗者アンケート調査 (新千歳便・福岡便) (令和元年5月18日～30日) における利用者の動向

- | | |
|--------|---|
| 1 実施期間 | 令和元年5月18日(土)、21日(火)、22日(水)、24日(金)、26日(日)、27日(月)、30日(木) (各曜日1日ずつの合計7日) |
| 2 調査方法 | 信州まつもと空港搭乗待合室で配布し同室内で回収する方式 |
| 3 調査対象 | 信州まつもと空港定期便の出発便の搭乗者 |

【県内・県外利用者の状況】

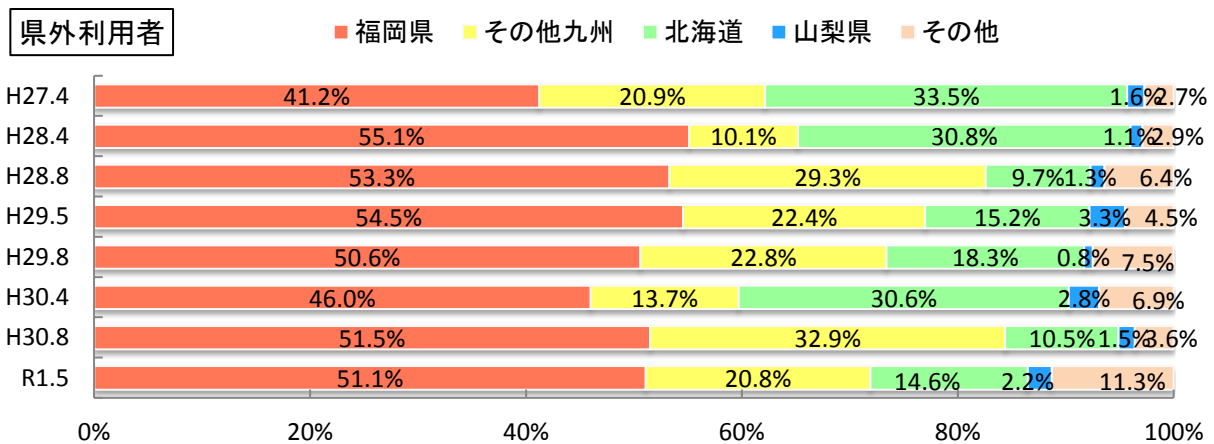
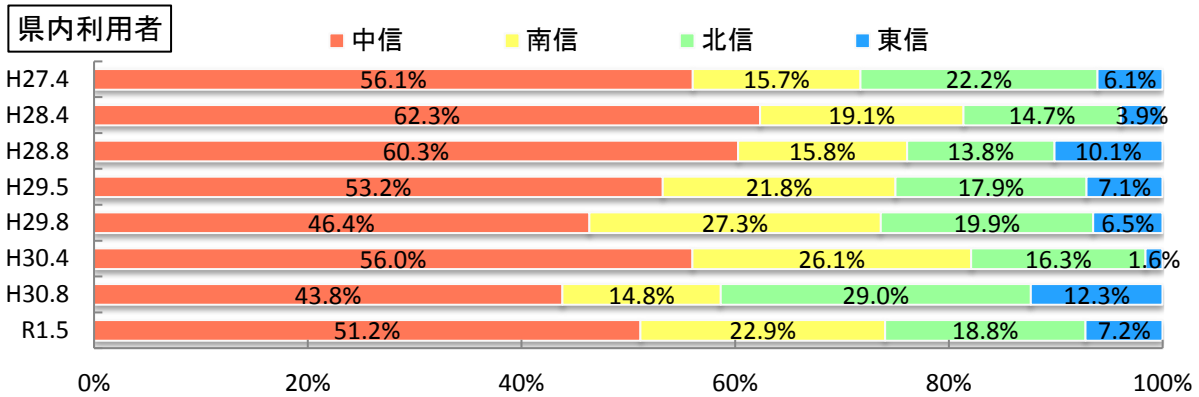
定期便全体では、県内利用者の割合が52.5%、県外利用者の割合が47.5%となった。
 路線別では、福岡便は、県内利用者の割合が34.7%、県外利用者の割合が65.3%となっており、
 県外利用者の割合が高くなっている。
 一方、新千歳便では、県内利用者の割合が78.6%、県外利用者の割合が21.4%となっており、
 県内利用者の割合が高くなっている。



【利用者の居住地】

居住地別に見ると、県内利用者では中信がおよそ半数を占めている。昨年4月の調査と比較すると、中信が4.8ポイント減、南信が3.2ポイント減だが、北信が2.5ポイント増、東信も5.6ポイント増加している。

県外利用者の割合を見ると、福岡県からの利用者は全体の51.1%、その他九州地区からの利用者は20.8%、北海道からの利用者は14.6%であった。また、隣県の山梨県からの利用者は2.2%という結果となった。

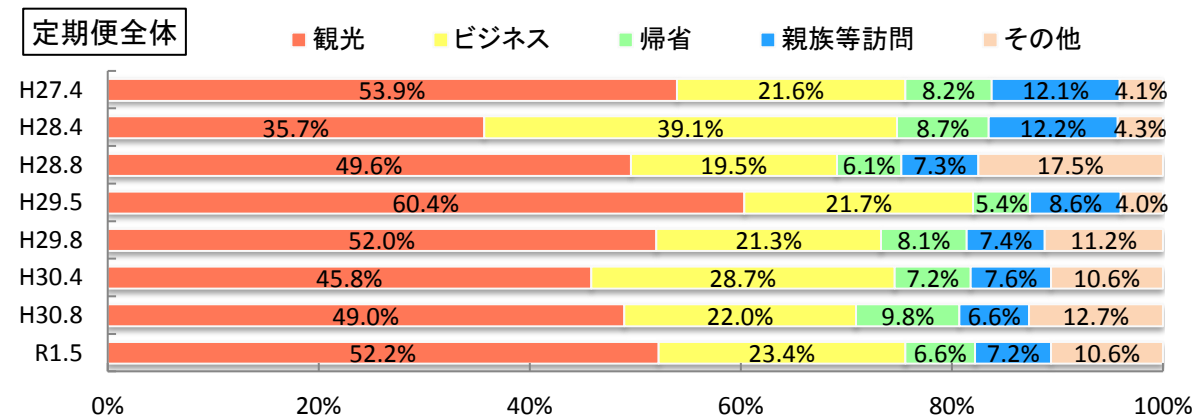


【旅行目的】

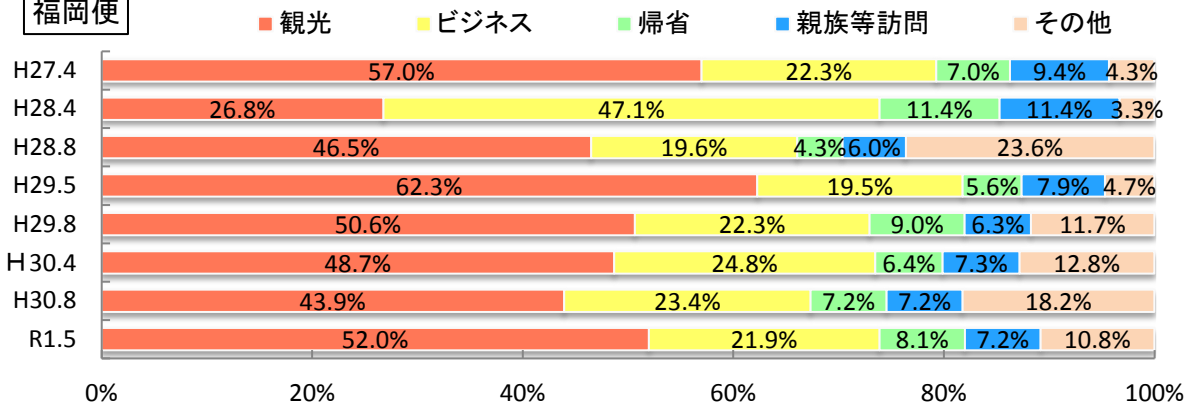
旅行目的については、定期便全体で、観光目的が52.2%、ビジネス目的が23.4%という結果となった。

路線別に見ると、福岡便では観光目的が52.0%、ビジネス目的が21.9%であった。

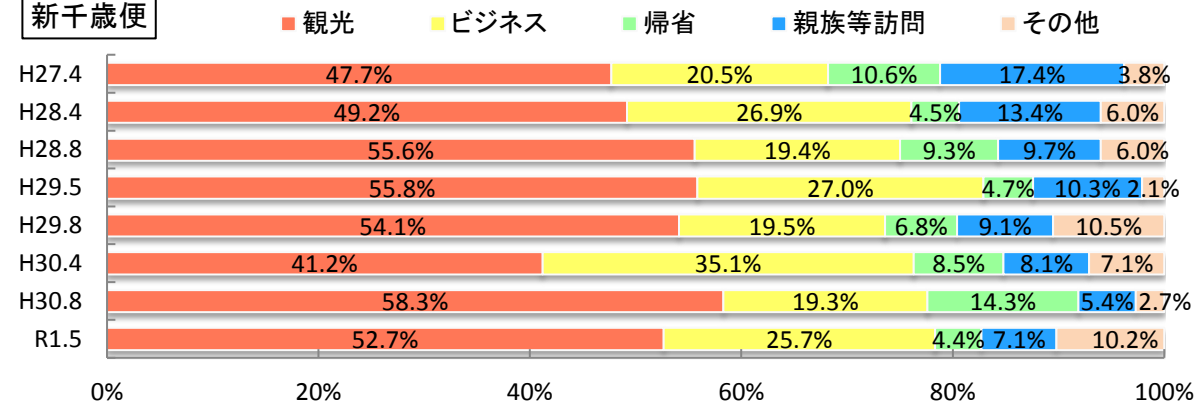
新千歳便については、観光目的の割合が52.7%と、昨年4月の調査と比較し11.5ポイント増加した。



福岡便

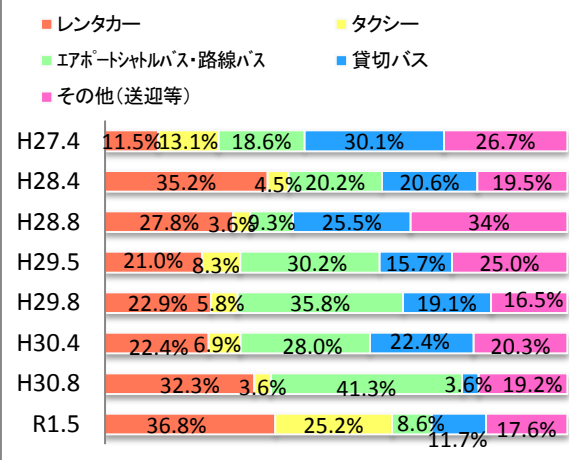


新千歳便

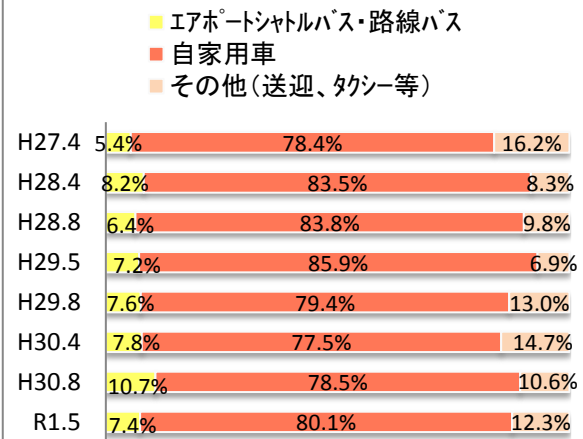


【参考:その他調査項目】

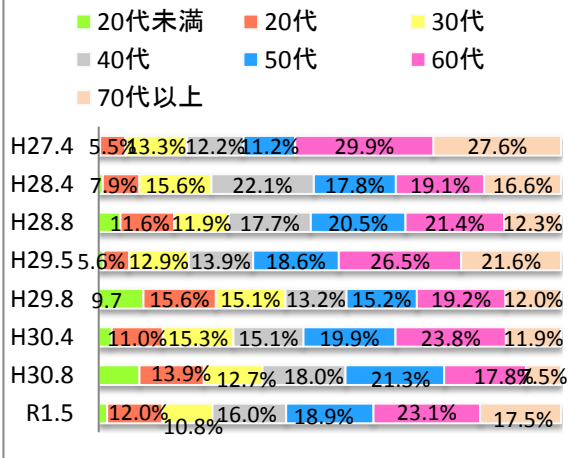
県外利用者 空港からの交通手段



県内利用者 空港までの交通手段



利用者年齢層



旅行日程

